

「公共研究」執筆要領

1 表題：原稿内容の最も適切な要約であるようにする。欧文タイトル、執筆者名を付記する。

2 要旨：日本語の論説の場合、英語で 200～400words の英文 abstracts も提出する。

3 原稿

- ・文章は口語体、常用漢字、新かなづかいによる。
- ・日本語原稿の場合、外国語の使用は必要最小限にとどめる。アルファベットは半角文字を使用する。
- ・使用するソフトは MS-WORD もしくは MS-DOS テキストとする。図表に関しては EXCEL ファイルも可とする。
- ・数式は 2 行分以上とり、文字・数字の大小を明瞭に区別する。数字は半角数字を使用する。
- ・生物の学名や記号のイタリック体はアンダーラインで指定する。
- ・文章の書き出しおよび改行は、必ず 1 字あけて書き始める。
- ・句点、読点およびカッコは 1 字分あける。
- ・原稿には必ずページ番号をふる。図表は別表とし、ページをふらない。
- ・原稿末尾に著者のかな書き氏名、所属機関名をカッコに入れて記入する。欧文の氏名、所属機関名等を付記する。

4 文献

4-1 引用文献

・本文中に引用は例にならい、著者の姓（紛らわしい場合は名前も併用）、発表年を書く。
例：鈴木（1991）は・・・、渡辺（2003 a）によれば・・・とされる（田中・加藤、2004）。

・インターネットからの引用及び参考文献の場合、筆者が参照した年月日をアドレスの後に記入する。

例：

<http://www.redefiningprogress.org/publications/pdf/eeit.pdf>（2004 年 11 月 1 日）

4-2 参考文献

・参考文献は著者のアルファベット順に並べる。同じ著者のものは年代順に並べる。同じ著者の同年代のものは、引用順に a、b、c・・・を付して並べる。また、同一著者の複数の文献を記載するときは、2 つめ以降の文献の表示には、氏名の代わりに、————（4 倍ダッシュ）を用いる。2 行以上になる場合は、2 行目以降は一文字下げる。

①書籍

著者名 (出版年) 『タイトル——サブタイトル』 出版社名

例：広井良典 (2003) 『生命の政治学——福祉国家・エコロジー・生命倫理——』 岩波書店

②雑誌論文

著者名 (出版年) 「論文のタイトル」 『雑誌名』 巻(号): 論文の初ページ-終ページ。

例：倉阪秀史 (2001) 「展望論文 環境に関する社会科学」 『千葉大学経済研究』 16(1): 129-140

③編書論文など

著者名 (出版年) 「論文のタイトル」 編者名編・著者名 『本のタイトル』 出版社名、論文の初ページ-終ページ

例：雨宮昭彦(2004) 「グローバリゼーション、欧州統合とコーポラティズムの再建」 廣田功・永岑三千輝編 『ヨーロッパ統合の社会史』 日本経済評論社、175-216

④外国語文献及び翻訳書・翻訳論文

著者名 (発行年) タイトル (イタリック) : サブタイトル, 出版元

(訳者名訳 (翻訳の出版年) 『訳書のタイトル』 出版社名)

例：Etzioni, Amitai (2001) *Next: the road to the good society*, New York: Basic Books

(小林正弥監訳・公共哲学センター訳 (2005) 『ネクスト：善き社会への道』 麗澤大学出版会)

著者名 (発行年) 'タイトル' in 編者名 (ed(s))・著者名 タイトル (イタリック) : サブタイトル, 出版元

(訳者名訳 (翻訳の出版年) 「論文のタイトル」 編訳者名編 『訳書のタイトル』 出版社名)

例：Vincent, Andrew (1998) 'Is Environmental Justice a Misnomer?' in D. Boucher and P. Kelley(eds.) *Social Justice: from Hume to Walzer*, Routledge

(栗栖聡訳 (2002) 「環境的正義は誤称なのか」 飯島昇藏・佐藤正志訳者代表 『社会正義論の系譜：ヒュームからウォルツァーまで』 ナカニシヤ出版)

外国語雑誌はイタリック体、単行本はローマン体とする。雑誌の巻数はボールド体、号はカッコに入れる。巻がなく号だけのものは、No.3のように書く。雑誌では最初と最後のページを-でつなげて書く。

例：Wolin, Sheldon(1969) 'Max Weber: Legitimation, Method, and the Politics of Theory', *Political Theory*, 9(3): 401-424

(千葉眞・中村孝文・斎藤眞編訳 (1988) 『政治学批判』 みすず書房、157-199)

⑤ 調査報告書

研究代表者名 (刊行年) 『研究課題名』 ○○年度科学研究費補助金研究成果報告書、研究機関名

例：小林正弥 (2005) 『日本における公共哲学の構築のための包括的研究—地球的公共哲学ネットワーク形成に向けて』 2001-2004年度科学研究費補助金研究成果

報告書、千葉大学

⑥政府刊行物など

編集機関名（出版年）『タイトル』

例：環境省（2004）『環境白書（平成16年版）』

⑦修士論文や学会報告原稿など

著者名（論文提出年）「論文のタイトル」○○大学大学院○○学研究科○○年度修士論文

⑧電子メディア情報

インターネット上のホームページの情報を文献として利用したときは、欧文の場合と邦文の場合それぞれについて、次のとおりとする。

著者名（公表年または最新の更新年）“当該情報のタイトル”（URL、アクセス年月日）

例：

Eissa, Nada, Richard Blundell and Laura Blow（2000）'Employment, Environmental taxes, and Income taxes'

(<http://www.redefiningprogress.org/publications/pdf/ceet.pdf>, May 16, 2005)

藤田宙靖（2000）「国の変革と市町村の役割」

(<http://www.law.tohoku.ac.jp/~fujita/heisei-20000222.html>, 2004年10月1日)

CD-ROM、FD、視聴覚資料などを文献として利用した場合の記載は、書籍に準じるが、末尾に CD-ROM や FD、ビデオテープ、録音テープなどであることを明記する。例示すれば、次のとおりである。

日本公共政策学会（1998）『公共政策——日本公共政策学会年報』1（CD-ROM）

5 図表

- ・図表は各図、写真、表ごとに別紙とし、番号は図3、表2、写真5などと表す。
- ・図表は基本的に著者が作図するものとする。ただし引用等で編集委員会が作成する場合、必要に応じて実費を徴収する。
- ・国土地理院、水路部等が発行している地形図、海図等を用いる場合には、あらかじめ許可をとり、その旨注記する。

6 書評

- ・書評の見出しは次の例にならう。

（例）

アンソニー・ギデンズ著、佐和隆光訳：第三の道--効率と公正の新たな同盟、東京：日本経済新聞社、286pp.、1999年、ISBN4-532-14771-9

Daly, Herman E. and Joshua Farelly, (2004) *Ecological Economics: Principles and Applications.*, Washington D.C.: Island Press, 440pp., ISBN 1-55963-312-3.

☆価格情報を削除、ISBNを付加